

第8次

鷹栖町総合振興計画

— 笑顔幸せ みんなでつくる あったかす —

2020-2029





ごあいさつ

令和という新しい時代の幕開けと時を合わせ、鷹栖町は令和元年に町制施行50周年という節目を迎えました。ふるさと鷹栖を築き上げられた先人のご労苦に思いをはせ、感謝の思いを町民の皆さんと分かち合うとともに、新たな鷹栖の創造に向けて決意を新たにいたしました。

まちづくりは新たなステージへ、第8次総合振興計画がスタートします。

鷹栖町は開村以来、農業を基幹産業として発展し、先人のたゆまぬ努力を礎に、その思いを現在に継承する農業者の皆さまの真摯な取り組みによって、全国でも有数の農業地帯としての地位を確立しています。また、健康と福祉のまちづくりをコンセプトに、子育て支援や高齢者福祉の充実に力を注ぎ、生涯にわたり安心して暮らすことができる基盤づくりを進めてまいりました。

一方で、今後10年のあいだにも、人口減少、少子高齢化、若者の流出など、人口構造の変化は急速に進み、本町を取り巻く情勢は厳しさを増すことが予想されます。また、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標：SDGs」の理念である「誰一人取り残さない」社会の実現が国際社会において共通の目標として掲げられるなど、新しい時代の動きを的確に把握し、速やかに対応していくことが必要です。

こうした変化に適応し、活力を失わずに未来へ希望が持てるまちづくりを持続していくために、今がまさに大きな転換点であり、一層の創意工夫が求められる時です。

今回の計画策定にあたっては、町民の皆さんとともに創り上げる住民参加のプロセスを最重点コンセプトとして掲げて取り組みました。まちづくりセミナーやワークショップなどの開催を重ね、多くの町民の皆さんが鷹栖町で実感している課題や、こんな未来を実現したいという希望に基づいて内容をまとめ、策定に至りました。この計画は今後10年間、町民の皆さんと行政が共通の目的を認識しながら、力を合わせてまちづくりを進めていくための道しるべです。

これからの10年は、これまでにない社会変化が訪れ、まちの力が試される時です。着実にまちづくりを前進するためには、他人ごとではない「自分ごと」のまちづくりへと意識を醸成し、町民の皆さんと行政、関係機関とが連携を深めて取り組んでいくことが何より大切です。この計画においても、「笑顔 幸せ」があふれるまちを未来へ引き継いでいくために、あったかすなまちを「みんなでつくる」という決意が示されています。共に考え、共に行動する「協働のまちづくり」をより一層力強く進めていくため、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この計画の策定にあたり貴重なご意見やご提言を頂きました町民の皆さま、熱心に議論を頂きました策定委員会、町議会をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。

2020(令和2)年3月

鷹栖町長 谷 寿男

目次

第1部 序章 01

- 1. 計画策定の意義 02
- 2. 計画の構成 03
- 3. 鷹栖町の現況 04
- 4. 策定方法 08

第2部 基本構想 25

- 1. まちの将来像 26
- 2. まちづくりへの決意 28
- 3. 基本目標 30

第3部 基本計画 33

- 計画の体系 34
- 基本目標1 あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち 36
- 基本目標2 あらゆる人の希望に寄り添う 幸せな暮らしを実現するまち 42
- 基本目標3 あらゆる地域資源を活かす 幸せなしごとをつくるまち 47
- 基本目標4 あらゆる安心を未来へとつなぐ 幸せな環境を持続するまち 52
- 基本目標5 あらゆる人が関係して高めあう 幸せな交流があるまち 58
- 参考：将来像達成に向けた施策展開イメージ 64
- 分野横断的に取り組む重点施策 65

資料編 71
